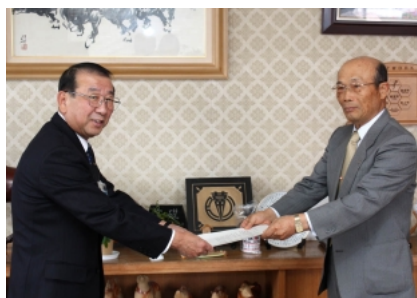


まちのニュース



1月25日、(株)幕別パークホテル悠湯館さんと鎌田輪業(有)さんから車椅子を寄贈いただき、町内公共施設に配置しました。



2月16日、次世代育成支援対策地域協議会から、次世代育成支援行動計画と子どもの権利条例案の審議結果について、報告をいただきました。



白銀台での経験を生かして

1/25 忠類・齋藤君、全国大会へ

今年はバンクーバーオリンピックがあり、町内からも代表選手が選出されるなどウィンタースポーツ界は盛り上がりを見せていますが、未来のオリンピック選手候補がまた1人現われました。1月17日に開催された北海道中学校スキー大会回転競技で上位入賞を果たし、全国大会への切符をつかんだ齋藤喬太君はまだ中学2年生。今年の経験を糧に、更なる飛躍を期待したいですね。

遠くの下でがんばる人も

1/27 JICA国際交流員帰町報告

ピーマンぐらいの大きさの唐辛子を平気で食べ、世界で一番辛い物好きの国民と言われるブータン王国に、情報の安全保護の指導で3年間派遣された村瀬 将さんが、帰町報告のため役場を訪れました。

ブータンの国民は日本人とよく似た顔立ちで、他人への思いやりや気遣いがとても深く、生活しやすかったそうです。今後の活躍に期待します。



大きな舞台を楽しめます

1/27 全国中学スケート大会へ6人の選手

長野県で開催される全国大会に幕別町から出場する6人の中学生が、教育長のもとへ挨拶に訪れました。全国大会での目標は自己ベストを出すこと、楽しんでくることなどさまざまでしたが、幕別町、さらにはスケート王国十勝の代表としてがんばってきて欲しいですね。

本をもっと好きになってね

1/29 スワディ号が新しくなりました

真っ白いボディにパオくんとスワディくん。車内はLED照明になり、明るい雰囲気になったスワディ号が走り始めました。その新しいスワディ号を追いかけて札内北保育所に行くと、到着を待ちわびていた子どもたちが次々と車内に。町内を駆け巡るスワディ号を利用して、もっともっと本を好きになってね。



力作の作品が会場に咲く

1/30 まくべつ絵画展

今年で21回目を迎える絵画展には、町にゆかりのある方の作品が多数飾られました。入口では小室吏さんの赤を基調にした作品が迫力ある表情で出迎えてくれました。また、学生が描いた若々しい作品から、80歳を超えるベテラン絵描きさんの、ほのぼのとした雰囲気が伝わる作品もあり、時間を忘れさせるほどの空間でした。

なかなか点かない・・・でもがんばる！

1/30 札内子ども会宿泊研修会

「早く点かないかなあ・・・」。そんな声があちこちで聞こえてきます。昼間、一生懸命作ってアイスキャンドルに楽しそうに火を灯す子どもたち。札内東コミセンの前に突然現れた大きなアイスキャンドルと雪像のオブジェは、とても幻想的でした。あかりに照らされた子どもたちの真剣な表情。熱中することどもたちの顔はいつの時代もいいものですね。



おこわ？

1/30 台湾の夕べ

百年記念ホールを取材していると、どこからともなくいい匂いがしてきました。部屋へ入ると、まさに試食が始まるところで、遠慮なく輪に加えていただきました。目の前に並べられた料理は台湾料理で、今日は「台湾の夕べ」というイベントとのこと。国際交流協会の会員や海外に興味がある方が集まり、講師の話に耳を傾けていました。油飯（ヨウファン）というお祝いで食べるご飯をいただきましたが、日本のおこわのような食感でとても美味しかったです。



手作りにはとても見えません

1/30 本格ひな人形作り講座

ひな人形ってとても高価ですよ。素敵な人形を、手づくりの温かみも加えて作れたらいいと思いませんか？

百年記念ホールで開かれた今回の講座は2回に分けて行うほど大盛況で、参加した皆さんは思い思いの衣装をまとったひな人形を仕上げました。どれも手づくりとは思えない出来栄で、今にも動き出しそうな作品となりました。

私はアラブのお姫様よ

2/6 忠類保育所発表会

年に一度の発表会。かわいい子どもたちの姿を見に家族総出でやって来るので、忠類保育所の前は朝から大渋滞。ようやく会場に入ると、ステージではキラキラの衣装を身にまとった子どもたちが一生懸命演じている姿に、会場からは歓声が沸き起こりました。行事を通して多くの世代の人たちが一つの会場に集うことに、地域の温かさを感じました。



このグッズで応援を

2/9 高木さんから町に寄贈

高木美帆さんのお父さんがこの日、応援に使ってくださいと、扇子を町に寄贈してくれました。赤地に白い文字で高木美帆さんの名前、裏は白地に日の丸のかっこいいデザインのセンスは、高木さんが勤める会社で制作してくれたものです。この扇子を使って、レース当日、パブリックビューイングに集まった町民の力を結集し、美帆さんに追い風を送ります！

千の鶴に願いを託して

2/12 札内北小児童が高木選手に千羽鶴贈呈

高木美帆さんの母校、札内北小の児童会が美帆さんを応援しようと千羽鶴を折って高木さんのお母さんに手渡しました。低学年の子どもは小さい紙では折りにくいということで、大きめの紙で鶴を折ったとか。みんなの気持ちがたくさん詰まったさまざまな千羽鶴たちは、美帆さんをバンクーバーで羽ばたかせるでしょう。





1 年間、わくわくできたかな

2/13 ふるさと館ジュニアスクール閉講式

ふるさと館のジュニアスクールに通う子どもたちは、1年を通じて貴重な経験や知識をここで得ます。閉講式で修了証書を受け取るどの顔も、1年前とは比べ物にならないほどたくましく成長した表情でした。閉講式の後の百人一首大会では、札を見つめるたくさんの瞳が。この真剣でまっすぐな瞳が、いつまでも輝き続けて欲しいですね。

男も繊細な料理をする時代ぜよ

2/16 男の料理教室

男子厨房に入らずとは昔の話。今は料理のできる男性が「もてる」時代です。そんな風潮を敏感に感じた(?) 8人が、「男の料理教室」で食材を相手に悪戦苦闘していました。「これは時間かかるかな?」と思い、他の取材を済ませて戻ったら、残っていたのは美味しそうな匂いと空のお皿。「食べさせてあげたかったなあ。」と言う皆さん、ぜひ今度ご馳走してくださいね。



オリジナリティー溢れる作品

2/17 江陵高校書道部校外展

百年記念ホールのギャラリーに行くと、そこには力強い墨の文字。思い思いに筆を走らせた江陵高校書道部員の作品が、所狭しと飾られていました。漢字やひらがなという概念を打ち破る英語や絵のような文字もあり、高校生らしい生き生きとした芸術的な文字が、目の前いっぱいに広がりました。これはアートですね。

寒いからこそ温かいもてなしを

2/18 忠類雪上パークゴルフ場にて

連日、たくさんの愛好者が訪れる雪上パークゴルフ場で、「時間があったら昼頃来て欲しい。」と声をかけられました。カメラを持って行ってみると、大勢の人の輪の中心からなぜか湯気が? 「最近寒いし、遠くからたくさん人も来てくれるから温かいそばをご馳走しようと思ってさ。」と一言。

この様なもてなしの心に支えられているパークゴルフ、身も心も温かくなりました。

